

## 野田市教育委員会定例会会議録

- ◇日時 平成29年12月20日(水)午後1時30分開会 午後2時20分閉会
- ◇場所 野田市保健センター403会議室
- ◇出席委員 東條三枝子教育長 高橋保教育委員 伊藤稔教育委員 飯田芳彦教育委員 永瀬大教育委員
- ◇説明職員 杉山一男生涯学習部長 伊藤公夫生涯学習部次長(兼)社会教育課長 中村利夫教育総務課長 岡田通洋社会体育課長 横島司青少年課長(兼)青少年センター所長 寺田幸生興風図書館長 桑原辰夫学校教育部長 長妻美孝学校教育部次長(兼)学校教育課長 矢部雅彦学校教育部参事(兼)指導課長

- ◇書記 小関秀章教育総務課長補佐(兼)庶務係長

### ◇付議事件

- (1) 平成29年度末及び平成30年度野田市立小中学校職員人事異動方針について

### ◇教育長の報告事項

#### ・教育総務課

- (1) 教育委員会の点検・評価報告書の作成について  
(2) 野田市表彰条例に基づく表彰等について(生涯学習部)

#### ・社会教育課

- (1) 第70回野田市文化祭の概要報告について  
(2) 平成29年度第2回野田市社会教育委員会議の概要報告について  
(3) 平成29年度第2回野田市公民館運営審議会会議の概要報告について  
(4) 第20回野田市民俗芸能のつどいの概要報告について  
(5) 平成30年野田市成人式について

#### ・社会体育課

- (1) 第72回国民体育大会出場選手への記念品の贈呈について  
(2) 第67回千葉県民体育大会の結果について  
(3) 第94回東京箱根間往復大学駅伝競走について

#### ・青少年課

- (1) 野田市少年野球教室の結果について

#### ・学校教育課

- (1) 野田市立幼稚園園児募集状況について  
(2) 野田市表彰条例に基づく表彰等について(学校教育部)

#### ・指導課

- (1) 平成29年度第2回いじめ実態調査の結果について  
(2) 平成29年度野田市心身障がい児就学指導委員会会議の概要報告について  
(3) 平成29年度第2回部活動ガイドライン策定委員会会議の概要報告について  
(4) 第45回マーチングバンド全国大会の結果について  
(5) こども県展の結果について  
(6) 川間中学校区学校支援地域本部の「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰受賞について

◎東條教育長

ただいまから、平成29年12月教育委員会定例会を開会いたします。  
本日は、傍聴人はおりません。  
それでは、会議を始めます。  
本日の会議録署名委員を永瀬委員にお願いいたします。  
会議録承認の件に入ります。  
平成29年11月定例会の会議録について、確認をお願いします。  
御異議ございませんでしょうか。

◎全委員

(異議なし)

◎東條教育長

御異議なしと認め、11月定例会の会議録につきましては、承認といたします。  
それでは、議案の審議に入ります。  
議案第1号を議題といたします。  
書記、お願いします。  
(書記議案朗読)

◎東條教育長

事務局から説明をお願いいたします。  
学校教育課長、お願いします。

◎長妻学校教育課長

議案第1号 平成29年度末及び平成30年度野田市立小中学校職員人事異動方針について御説明申し上げます。

野田市の小中学校職員の人事異動につきましては、千葉県教育委員会の定める、公立学校職員人事異動方針及び東葛飾教育事務所人事異動推進方策を基本として進めております。

本市教育の一層の充実を期するため、全市的な立場で職員の重点強化等、教育現場の人的条件が一層整備されるよう人事異動を図ってまいりたいと考えております。

また、職員の資質の向上と人材育成を図り、市民に信頼される学校づくり、特色ある学校づくりを推進したいと思っております。円滑な学校運営が行われ、教育効果を高めるため、職員構成上の地域等格差や永年勤続者の解消を図り、適材適所の人事を積極的に推進していきたいと考えております。

特に、近年、県の方針に伴い、市間交流が強力に進められております。

また、県立学校等の交流については、新規採用5年から10年程度の教員が対象となる若手教員交流と、教職経験10年以上の教員が対象となる中堅教員交流が行われ、若手同士の交流も増えてきている状況がございます。今後も、人材育成の観点から積極的に進めてまいりたいと考えております。

さらに、野田市の人事異動に係る留意点につきましては、資料4ページのとおり、六つの重点を設け取り組んでまいります。

概要を申し上げますと、1点目が、人事異動については、全市的立場に立って行うこと。2点目、管理職の適正な配置及び登用に努めること。3点目、計画交流を含めた積極的な市間交流を図ること。4点目、特別支援教育の指導者の確保と適正配置を図ること。5点目、新規採用職員の配置について十分に配慮すること。そして6点目、再任用職員の配置について学校や地域の実情等を踏まえて計画的に行うことに留意して進めてまいります。

御理解、御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

よろしく御審議の上、御決定賜りますようお願い申し上げます。  
以上でございます。

◎東條教育長

議案第1号について、質問等ございましたらお願いします。  
高橋委員さん。

◎高橋委員

直接この人事異動方針に関わる事柄ではないのですが、質問させていただきたいと思  
います。

学校づくりという観点では、正規の職員が優位という、常勤あるいは非常勤含めまして  
講師の先生が結構多くなっているのではないかと思います。こういう講師の先生方の力  
量というものは学校教員にとっては非常に重要なという観点で、今年度の市内の講師の  
先生の数を教えていただければと思います。常勤で結構でございます。

そして、もう1点、新正規採用の1年目の先生については、マイカー通勤は基本的には  
駄目だということ言われているという話でございますが、講師の先生についてはそうい  
う規定がないということで、正規と非正規の福利差が大きいなということを感じるわけ  
でございます。講師の先生については、何年やっても余り給与体系が上がらないというお話  
を聞いたりもしているところでございますので、そういう条件面の違い、こういった大き  
な点について教えていただければと思います。

あと、講師の先生の研修体制はどういうふうになっているのか。その辺について教えて  
いただければと思います。

◎東條教育長

以上3点でございます。  
学校教育課長。

◎長妻学校教育課長

まず、1年目の講師の数でございますが、常勤につきましては、千葉県の場合は臨時的  
任用講師という言い方をしております。その人数につきましては、小学校が47人、中学校  
が20人、総計67人が野田市では今年度、臨時的任用講師ということで配置をされてお  
ります。

特に、小学校におきましては、担任をやっている者もいるんですが、47人いる中で、産  
休・育休者の代替として38人が担任をしているという状況でございました。

2点目、講師の待遇でございますが、まず、公用車登録につきましては、正規の者は基本  
的に運転免許を取得後1年未満の場合、自家用車を使って出張ができないという形にな  
っております。ですから、免許を取ってから1年未満の者については、必ず公共交通機関を  
使わなければいけないという決まりがあります。ただ、新採でもある程度免許を取って複  
数年たっている者については、基本的に車を使っても大丈夫ということは確認をしており  
ます。ですが、これについては、あくまでも今お話しましたとおり、正規の者については  
こういった扱いですので、講師については、当然免許を取ってすぐに出張とかで自家用車  
を使っている、そういった差はございます。

給与面ですが、県の場合、一般の教員については2級職、3級職という給与体系があ  
って、講師については1級職というところで位置付けられております。経験年数と、やっ  
ぱり年齢によって昇給はあるといったこととございますので、若干正規に比べたら伸び率  
はないんですが、若干の昇給はあるということとございました。

あと、退職金につきましては、基本的に講師の場合、1年以上勤務できませんので、1

年未満の中で6か月以上の勤務の実績があれば、退職金はおよそ半月分だそうです。受取が20万だと10万ぐらいの退職金を毎年度もらって、退職する形を取っているということでございました。ですので、やっぱり正規、非正規という問題の中では、非常に一生懸命やられている方々、年数が複数年にわたる方がいらっしゃいますので、それに見合った金額になっているかと言われますと、難しいところはありますが、ただ、一般の職に比べると、若干給与も上がったり、期末勤勉手当も12月1日、6月1日に在職していれば出るという形にありますので、一般行政職の非正規よりは、好待遇とは言いませんが、若干待遇的には恵まれたところもあるかなとも思っております。

3点目の研修関係ですが、教育事務所の方で、この臨時的任用講師だけを集めて不祥事対策の研修を設けてございます。あわせて、当然正規の先生方と同じように学級担任や校内研修も参加しておりますので、正規の先生と同じような形での研修は受けております。

以上でございます。

◎東條教育長

高橋委員さん。

◎高橋委員

ありがとうございました。

今、お話を聞いて、講師の先生方の処遇について、新聞に書いてあるほどのことはないなということを感じました。そういう意味で、非常に有り難いなと思います。課長さんからお話ありましたように、講師の先生、特に小中ではちょっと違うように思うんですが、小学校の場合には、講師即担任ということが結構多いということをお考えますと、非常にその力量がうんぬんということが言えるのかなと思うわけでございまして、研修もあるということでございますので、そういう研修の場を通しながら、講師の先生方もまた育てていただきたいなど。

そして、何よりも講師の先生方がやる気を持って教育に取り組んでいただけるような処遇の改善というんでしょうか、そういうものを機会があれば、県に要望していただければ有り難いななど。そうすれば、今お付きになっている講師の先生が力一杯やってくさっているわけですが、更にすばらしい講師の先生がこっちに来てくれるのかなと思うところがありますので、そういうお願いをさせていただきまして、意見とさせていただきます。

以上です。ありがとうございました。

◎東條教育長

ありがとうございました。

議案第1号について、ほかにいかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

なければ、議案第1号についてお諮りいたします。

議案第1号について、原案のとおり可決することに御異議ございませんでしょうか。

◎全委員

(異議なし)

◎東條教育長

御異議なしと認めます。

よって、議案第1号は原案のとおり可決されました。

次に、教育長の報告事項に入ります。

報告事項に対する質問につきましては、報告事項の説明終了後に一括してお受けしたいと思います。よろしくお願ひいたします。

それでは、最初に教育総務課からお願いいたします。

教育総務課長。

◎中村教育総務課長

教育総務課から2点報告させていただきます。

最初に、教育委員会の点検・評価報告書の作成についてでございます。

教育委員会の点検・評価につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定に基づき実施するものでございます。

点検・評価（案）につきましては、12月末日現在で作成しているところでございまして、年明けの1月16日までに委員の皆様にお示ししたいと考えております。

この点検・評価を行うに当たっては、同条第2項に「教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図る」と規定されており、本市におきましては、野田市行政改革推進委員会に御意見をいただいているところでございます。1月24日に開催されます野田市行政改革推進委員会の会議で御意見をいただき、2月の教育委員会会議で御決定いただきたいと思いますと考えております。

御決定いただいた点検・評価の報告書につきましては、3月に市議会に提出し、議員の皆様へ配付するとともに、市役所及び閑宿支所の行政資料コーナー等に配置し、ホームページで公表する予定でございます。

続きまして、2点目の野田市表彰条例に基づく表彰等についてでございます。

資料は、教育長の報告事項1ページになります。

野田市表彰条例に基づき、生涯学習部関係では、教育文化功労として奥村ちいこ様、丸山良子様、野田市立みずき小学校PTA様、スポーツ功労として野田市バドミントン協会様が表彰されることになりましたので、御報告いたします。

表彰は、1月4日の新年互礼会の席上で行われる予定でございます。

教育総務課からは以上でございます。

◎東條教育長

次に、社会教育課からお願いします。

社会教育課長。

◎伊藤社会教育課長

社会教育課から5点報告させていただきます。

最初に、第70回野田市文化祭について御報告申し上げます。

資料は、報告事項の2ページを御覧ください。

11月3日から12日までの期間で行われました第70回野田市文化祭は、舞台発表の部が文化会館大ホール及び櫛のホール小ホールにおいて5日間行われ、総出演者数は2,001名でございました。

また、作品展示の部は、興風会館、中央公民館、総合福社会館、市役所及び櫛のホールにおいて3日間行われ、総出品数は972点でございました。

なお、各種行事の部につきましては、9月16日の第41回野田市合唱連盟合唱祭を皮切りに、来年3月に行われる園芸教室まで24団体の行事があり、現在20の行事が終了しております。

次に、4ページを御覧ください。

平成29年度第2回野田市社会教育委員会議の概要について御報告いたします。

会議は11月27日、市役所511及び512会議室において、委員13人中10人の出席により開催いたしました。

会議の内容といたしましては、協議事項である少子高齢社会の社会教育について審議していただき、継続審議となりました。

次に、5ページを御覧ください。

平成29年度第2回野田市公民館運営審議会の開催結果について御報告いたします。

会議は11月29日、関宿中央公民館大会議室において、委員24人中19人の出席により開催いたしました。

会議の内容といたしましては、各公民館から平成29年度公民館後期主催講座及び市民セミナー3コースの講座内容や応募状況について報告し、委員の了承を得ました。

次に、6ページを御覧ください。

第20回野田市民俗芸能のつどいについて御報告いたします。

12月3日に野田市文化会館大ホールにおいて、野田市文化祭各種行事の部として、第20回野田市民俗芸能のつどいが開催されました。

当日は、民俗芸能保持団体から指導を受けている小学校6校、中学校1校出演のほか、七つの保持団体の出演があり、出演者を含めて約900人の来場者がありました。

次に、8ページを御覧ください。

平成30年野田市成人式について御報告いたします。

平成30年1月8日の成人の日に、野田市文化会館において成人式を開催いたします。今回成人式を迎えるのは、平成9年4月2日から平成10年4月1日に生まれた野田市民で、12月1日現在で1,573人です。このほか、就学や就職等の関係で市外に住所を移した野田市出身者で、野田市で成人式を受けたいと申出があった方約50人が対象となります。

式典は、成人式実行委員の運営で午前10時半から11時50分までの予定で行われます。教育委員の皆様には、お忙しいところ恐れ入りますが、新成人の前途を祝福していただきたく、御出席についてよろしく願いいたします。

以上です。

#### ◎東條教育長

続いて、社会体育課からお願いいたします。

社会体育課長。

#### ◎岡田社会体育課長

社会体育課から2点御報告させていただきます。

初めに、第72回国民体育大会出場選手への記念品の贈呈につきまして御報告いたします。資料は、9ページでございます。

12月2日土曜日でございますが、興風会館大講堂におきまして、野田市体育協会及び公益財団法人興風会主催の平成29年度スポーツの集いが開催されましたが、その中で、野田市教育委員会といたしまして、第72回国民体育大会出場選手の紹介及び記念品の贈呈を行いました。野田市から国体に出場された選手9名中、代理出席を含め6名の出席がございまして、生涯学習部長より国体出場記念の盾を贈呈いたしました。

なお、当日は東京ヤクルトスワローズの小川淳司監督を講師に迎え、「『育てる』～私の歩んだ道を振り返って～」と題して、約1時間の講演会がございまして、多数の参加がございました。

次に、第67回千葉県民体育大会の結果につきまして御報告いたします。

資料は、10ページでございます。

第67回千葉県民体育大会につきまして、全日程が終了し、主催者である千葉県体育協会から大会成績が送付されましたので、報告をいたします。

総合成績では、33郡市中、男子が10位、女子が15位、男女総合12位となっております。なお、本大会における野田市代表選手団の成績は、先ほど申し上げました12月2日開催のスポーツの集いにおいても報告されております。

次に、資料にはございませんが、第94回東京箱根間往復大学駅伝競走につきまして御報告いたします。

来年の1月2日及び3日に開催されます第94回箱根駅伝に、野田市内の高校出身の選手1名がエントリーされました。正式な走者の発表は、当日の午前7時頃となっておりますが、12月29日に区間エントリーが発表されますので、エントリーされましたら、30日には野田市のフェイスブック等に載せる予定をしております。

報告は以上でございます。

◎東條教育長

続いて、青少年課からお願いします。

青少年課長。

◎横島青少年課長

青少年課から、野田市少年野球教室の結果について御報告いたします。

報告事項の11、12ページを御覧ください。

11月26日の日曜日、野田市総合公園野球場におきまして開催いたしました野田市少年野球教室につきましては、法政大学野球部真木コーチと選手総勢42名の皆さんの御指導の下、スケジュールのとおり事故、怪我等もなく無事終了することができました。

当日の参加者数につきましては、資料に記載のとおり、少年野球チーム142人、中学校野球部員78人、各少年野球チーム及び中学校野球部の指導者49人の計269人で、子供たちは大変熱心に指導を受けておりました。

なお、開催に当たって、昨年に引き続き御厚意により、開会式前のオープニングに西武台千葉中高混成による吹奏楽部の演奏及びダンスドリル部のパフォーマンスを御披露いただき、盛り上げていただくとともに、西武台千葉高等学校野球部員の皆さんにグラウンド整備等のサポートをしていただきましたので、併せて御報告いたします。

以上です。

◎東條教育長

続いて、学校教育課からお願いします。

学校教育課長。

◎長妻学校教育課長

学校教育課所管の事業について2点報告をさせていただきます。

まず、野田市立幼稚園園児募集状況について報告いたします。

資料は、13ページになります。

まず、1の幼稚園園児募集状況について御説明申し上げます。表の右端になりますが、合計欄の一番下にありますよう3園の応募総数は100名で、昨年度の76名より24名の増となっております。

次に、2の現在及び来年度の状況についてですが、関宿南部幼稚園の年少児が34名で、ぎりぎりの1学級編成となっております。あと2名増えますと1学級増え、2学級編成となります。今年度、関宿南部幼稚園、関宿中部幼稚園ともに昨年度より入園児が増えており、近年減少傾向にあった園児数に歯止めがかかった様子が見られます。しかしながら、国の無償化の動向もあり、幼児教育は大きな変革期にございます。国の動向も含め、今後の園児数の推移については、十分注視してまいりたいと思っております。

また、園児数につきましては、職員数に関わる部分もありますので、担当課と調整し、よりきめ細かな子供たちへの指導の維持等について相談してまいりたいと考えております。次に、野田市表彰条例に基づく表彰等について、学校教育部関係について御報告申し上げます。

資料は、14ページになります。

野田市表彰条例に基づき、教育文化功労として川井清明様、鈴木和夫様、齋藤博様、生田昭二様が、そして、保健衛生功労として、井谷秀人様、下重正子様が表彰されることになりました。また、多額の寄附をいただいたことにより池松武之亮いびき研究所様へ、電子黒板等の寄附をいただいたことによりパナソニック株式会社様へ感謝状が授与されることとなりましたので、御報告いたします。

表彰は、1月4日の新年互礼会の席上で行う予定でございます。

学校教育課は以上でございます。

#### ◎東條教育長

次に、指導課からお願いします。

指導課長。

#### ◎矢部指導課長

指導課所管の事業等につきまして、報告申し上げます。

1点目は、第2回いじめ実態調査の結果についてでございます。

資料は、15ページから17ページになります。

第2回いじめ実態調査につきましては、11月17日に取りまとめが終わりました。

資料15ページを御覧いただきたいと思います。認知件数につきましては、6月の第1回調査と比較しますと、小中学校とも減少しております。一方で、昨年度の同時期と比較しますと、小学校は531件で250件の増加、中学校では43件で7件増加となっております。いじめの態様は、小中学校とも冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われるというのが最も多く、いじめを受けた相手はクラスの友達が最も多くなっております。資料にはございませんが、これを更に詳しく見ますと、小学校低学年で第2回目調査での認知件数が増加しているということが分かりました。原因といたしましては、担任や児童のいじめについての理解がより深まったこと、人間関係の構築の過程で意見の相違やトラブルもたくさん出てきたということが考えられます。

第1回調査後の聞き取り調査では、各校の地道な努力によっていじめの解消が図られ、解消率は小中合計で95.88%であり、継続支援中、あるいは解消に向けて取組中の小学校は0件、中学校で1件、これが継続支援中でございます。新たないじめの発生や一旦解消を見たものの再発、あるいは実際に解消には至っていなかったケースなど様々あると考えられますことから、今後、第1回の時と同様、聞き取り調査、追跡調査を行い、いじめの状況や継続している事案、体や命に関わる重篤な事案があるか、さらには、アンケートには挙がっていないものの気になる子供はいないか、また、長欠傾向の子供についても各学校に確認してまいります。

今後も、いじめは絶対に許されないという認識と、どの学校にも、どの子にも起こり得るという危機意識を常に持ち、継続的に調査、指導を進めるとともに、担任1人ではなく、学校全体への組織体制で指導に当たってまいります。また、状況によってスクールカウンセラーやひばり教育相談、特別支援コーディネーターへの相談及び児童家庭課や警察など関係機関と連携を取るなどして、早期解消に努めてまいります。

また、前回の会議では、野田市としてのいじめ防止基本方針案を御覧いただきましたが、



12月15日から1月17日まで市民の方々のパブリック・コメント手続を経て、3月末から4月初旬に策定をしたいと考えております。

なお、先月報告させていただいた学校からのいじめについて申し上げます。先ほどの中学校1件の事案でございます。SNSによるトラブルがありましたが、現在はこれは確認されていないので、引き続き見守りを続けている状況でございます。また、新たないじめは報告されておりません。

続きまして、2点目、資料18ページから19ページ、野田市心身障がい児就学指導委員会について報告申し上げます。

第1回の会議を11月16日木曜日、第2回の会議を12月7日木曜日に開催いたしました。第1回目には11名の児童について、第2回目には73名の児童生徒の適切な就学先について御審議をいただきました。新1年生の就学先といたしましては、現時点で野田特別支援学校小学部に12名、市内小学校の特別支援学級に12名、中学校の特別支援学級に20名、小学校の通級指導教室に22名、小学校の通常級に5名、中学校の通常級に11名、他県への転居予定の児童が1名でございます。各保護者へは、答申の結果を就学通知書として12月末日までに通知いたします。

なお、次回の就学指導委員会は、1月11日木曜日を実施する予定でございます。この会議では、30名から50名ほどの児童生徒につきまして審議をする予定でございます。

続きまして、3点目、第2回部活動ガイドライン策定委員会の概要について報告申し上げます。

資料は、20ページでございます。

11月27日木曜日に開催された同委員会では、学校現場での実態調査を基に、児童生徒及び教員の健康保持を視点を、活動時間や休養日の設定、さらには、市の行事の見直しについて意見が交換されました。今回も、永瀬委員には医師会代表として御参加いただき、貴重な御意見をいただきました。ありがとうございました。

資料でございますように、それぞれの立場から様々な意見をいただきました。これらを集約し、活動時間や休養日についてある程度の枠組みを作成するとともに、顧問の指導力向上や児童生徒の自主的な活動の在り方についても含めた素案を提示し、更に審議を重ねる予定でございます。

次回は、1月下旬の開催を予定しております。

最後に、資料にはございませんが、3点報告申し上げます。

まず、1点目ですが、12月16日土曜日にさいたまスーパーアリーナにおきまして、第45回マーチングバンド全国大会で、南部中学校がマーチングバンド大編成の部におきまして、金賞を受賞いたしました。

2点目です。美術の作品を出品します、こども県展がございますが、ここに野田市から出品した多数の児童生徒が入選いたしましたので、報告申し上げます。

最後になりますが、3点目です。川間中学校区学校支援地域本部が、平成29年度「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰を受賞いたしました。学校のニーズに応じて、キャリア体験学習や伝統芸能体験活動、図書室環境整備などを行った実績が評価されたものでございます。

以上でございます。よろしく申し上げます。

◎東條教育長

ほかに報告事項がございましたら、この際お願いいたします。

よろしいでしょうか。

それでは、ただいま報告のありました事項につきまして、御質問等ございましたらよろしくお願ひいたします。

高橋委員さん。

◎高橋委員

いじめについてちょっとお伺ひしたいと思いますが、小学校で金品をたかられるというのが6件報告あったように記載されていると思います。特に大きな問題になるようなことはないのでしょうかということが1点です。

それから、先ほどの報告にもありましたけれども、パソコンや携帯電話等でのいじめ、これが小学校でも見られるようになってきているということで、なかなか把握するのが難しいとは思いますが、この辺のことについて、今学校で努力されていることがあれば教えていただきたい。あわせて、今後、ますますこういうパソコンや携帯電話の利用についての情報教育というんでしょうか、そういったものを徹底していただきたいというお願ひをさせていただきたいと思ひます。

質問は2点です。以上でございます。

◎東條教育長

2点につきまして。

指導課長。

◎矢部指導課長

まず、いじめに関わります金品をたかられるというこの内容につきまして、アンケートの結果を集約しますと、小学校6件ということでしたので、各学校に確認をいたしましたところ、6件のうち2件は間違いであったということで、実質4件ということでした。この4件を確認いたしますと、小学校6年生で中学生にお金をたかられたというのが1件、小学校3年生で本を貸したけれども返してもらえなかったというのが1件、それから、小学校3年生の女子で物の貸し借りによるトラブルが1件、そして、小学校4年生の男子で自分のお菓子を食われてしまったと、そんな内容がありまして、重大な事案という、金品を強要されたという事案が1件のみでございました。これについても、今後解決すべく対応していきたいと考えております。

続きまして、SNSによるトラブルですが、これにつきましては、目に見えない部分があるというのが大きな課題だと思いますので、使い方について、子供や保護者対象の学習会、マナー講習会を実施しているところです。それから、この被害にあった児童生徒が、いじめについて報告ができるようなシステムについて検討を進めているところでございます。具体的には、SNSを使って匿名でいじめの相談をできるような、柏市のような例を参考にしながら、運用に向けて検討しているところでございます。

以上でございます。

◎高橋委員

ありがとうございました。

今、課長さんのお話の中に、保護者にも協力をいただきながらということがあったんですが、パソコンや携帯を使ってのいじめというのは、学校だけでは絶対に解決しないと思ひますので、是非そういう事例を保護者にも示しながら、協力を得られるような形をとっていただければと。学校だけで全てを抱えこまないでいただきたいということをお願ひさせていただきますと思ひます。

以上です。

◎東條教育長

ほかにいかがでしょうか。

伊藤委員さん。

◎伊藤委員

先ほどのいじめの資料と関連して16ページの小学校の部分ですけれども、いじめを受けた相手の中に、エの家族が38件と数字が出ていますけれども、例えばこれは児童虐待とか、DVとかに関連するような事案というのが市内にあって、児童相談所等の事案になっているケースなんていうのは、こういう中に出てくるのか出てこないのか分からないんですけども、いかがなんでしょうか。

◎矢部指導課長

これまでの例で申し上げますと、家庭内で保護者から精神的、肉体的に苦痛を与えられているというケースがございました。これにつきましては、児童家庭課、児童相談所と連携をして対応しているところでございます。

◎伊藤委員

そういう事例が以前あったと。

◎矢部指導課長

はい。

◎伊藤委員

それは、こういういじめの調査で分かってきた。

◎矢部指導課長

はい。これをきっかけに分かっている例があります。

◎伊藤委員

ありがとうございます。

◎東條教育長

ほかにいかがでしょうか。

永瀬委員。

◎永瀬委員

公立幼稚園の募集状況で、13ページの来年度のところで、今まで見ていると緩やかな減少傾向が続いていて、今回76人から100人、かなりのV字回復みたいな数字になっていますが、何か対策を講じたか、メリットが何か出だしたのか、特にないままなのか、教えていただきたいと思います。

◎長妻学校教育課長

人数が増えることはとても良いことなんですけど、ちょっと予想外に増えていまして、幼稚園に確認しましたら、逆に言うと去年が少な過ぎたという話なんです。幼稚園としては、毎年100名前後の人数が入るような方向でいて、若干子供数が減ってきている状況があったので、そういった微減の形だったんですけども。ですから、今回逆に幼稚園としたら、いつもどおりの人数かなという話はしておりました。ただ、私ども、特別なことはしておりませんが、行政大綱で、関宿中部、南部幼稚園に合併のお話が一部出ていたので、それもちょっと不安視したところが何年前にありましたが、このところ、そのお話は出てきていない状況があるので、逆に親御さんとしては、その部分では大丈夫かなという安心感があって、また関宿中部、南部に入園をされている状況があるかなということは予想しております。

◎東條教育長

よろしいでしょうか。

ほかにかがででしょうか。

高橋委員。

◎高橋委員

この報告事項とは全く別でよろしいでしょうか。

◎東條教育長

どうぞ。

◎高橋委員

一つ要望でございますが、今学校で、小学校の方だとは思いますが、ボランティアで学校に協力してくださっている方が何人かいらっしゃったと思います。その方たちが、健康診断を自己負担で受けられているのが現状ではないかなと思います。どのぐらいかかっているかはちょっとよく分からないんですが、数千円かかっているというようなことがありますので、来年度予算からというわけにはいかないと思いますが、できれば負担、あるいは補助、こういうものがあれば、またボランティアの数も増えるのかなとも思いますので、その辺のことについて、来年1年検討していただければ有り難いと思います。要望いたします。

◎東條教育長

ほかにかがででしょうか。

飯田委員。

◎飯田委員

16ページ、いじめの関係ですけれども、いじめを受けた相手なのですが、オのその他、小学校の場合17件、中学校の場合は9件なんですけれども、この中身が分かればということが1点です。

それから、先月の定例会以降、委員会に上がってきたいじめに関するような御質問、それから意見、相談等あるようでしたら、それについて教えてください。

あともう一点、人事の関係なんですけれども、議案の中にあつたかと思うんですが、2ページ、心身ともに優れたというような書き方、項番1にしてあるんですけれども、身も心も若干疲れてお休みになっていらっしゃる教員がどの程度いらっしゃって、それが傾向的に減少の傾向なのか、増えつつあるのか、横ばいなのか、それを解消するために復帰に向けてどのようなプロセスを委員会として踏まれているのか。分かればその3点、すみませんが、教えていただけますでしょうか。

◎東條教育長

指導課長。

◎矢部指導課長

まず、いじめの新たなものにつきましては、報告はないんですが、市政メールにいじめをなくすためのアプリを導入してもらいたいというような意見をいただいています。これについては、導入に向けて検討しています。何かあつたらすぐに相談をしてほしいということで、相談先をお知らせしましたら、ありがとうございますという返事が返ってきた案件が一つございます。

それから、いじめを受けた相手のその他なんですけど、例えば学童の友達とか、物へのいたずらで相手が分からない、それから、学級の誰にされたかがよく分からない、親やインターネット上の友達、好きな子に無視されるというのもありました。ほかには、教員というのが残念ながら返ってきたものもあつて、私にだけ強く怒る、挨拶をしても無視をされる、号令係をやりたくないけれどもそれを変えてくれない、それから、嫌味を言われる、その

ような内容がございました。相手が分からないというものや、教員というのが中にはいたようでございます。

◎東條教育長

学校教育課長。

◎長妻学校教育課長

3点目、メンタルの話でよろしいですね。

メンタル面での療養休暇者なんですが、過去3年で言いますと、お休みを取った者は26年が7名、27年が5名、28年が6名という数字で横ばい状況でしょうか。ただ、休みが長くなり180日以上にいくと、今度は休職という形でお休みするんですが、26年度が6名、27、28年度が3名ということで、現状ではそういった療養休暇の先生方の数は減ってきている状況では捉えています。

それについては、私ども、近年メンタルヘルスについて、かなり研修等も行っております。全体での研修もそうですし、校内でもやっていただいている状況がございます。それがまず1点と、あとは、先般学級事務支援でお話をさせていただいた業務改善といった話の持っていく方をして、逆に言うと、勤務時間の見直しというんでしょうか。また、負担軽減ということでしょうか。そういったことをお話する中で、割と気持ちを強く持ったり、早く帰ってリフレッシュしたりといったところが、少しずつ形としてできてきている状況があって、こういったメンタルの先生方にそういう徴候があるのではないかなど。あと、若手が増えていますので、若手同士も情報交換しやすくなったということも一つあるかもしれません。

以上です。

◎飯田委員

ありがとうございました。

良い傾向ですよ、それは。事務支援員さんが良い方向に機能すればいいですが。

ちょっと気になりました、答弁いただいた中で、私だけ強く怒られる。どこかで聞いたような、新聞に載ったような、私だけの老婆心でしたら結構なんですが、申し訳ないんですが、それがつらくてということも過去にあったように思いますので、すみませんが、少し注意していただくことは可能でしょうか。

◎東條教育長

指導課長。

◎矢部指導課長

出てきた案件については、全部学校に確認をしたんですが、こういったことについて、本人ともう一度確認をして、こういうことが今後ないようにしていくということで確認済みという報告は受けているんですが、誤解を招かないようにしていくことは必要だと思いますので、今後も見守りは続けていきたいと思っております。

そのほかに教師が嫌いというものもありますので、そういうことについても注意深く見ていきたいなというふうに思っております。

以上でございます。

◎飯田委員

ありがとうございました。

すみません、老婆心ながら、よろしくお願いします。

◎東條教育長

ほかにありますか。

よろしいですか。  
ないようでございますので、本日の報告のありました事項につきましては、これで終了  
したいと思います。  
それでは、以上で本日の教育委員会定例会を閉会といたします。

以上会議の顛末を記載し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

教育長

委 員